

こひつじ

第41巻 36号
大津キリスト教会
菊池郡大津町室 119
TEL 096-293-4470
FAX 096-293-4961
牧師 米村 英二

主を拝み、主にだけ仕えなさい

その二 何に心を動かされているか

それなら私たちは何に心を動かした。されるべきだろうか。

内村鑑三の『代表的日本人』に問をしたくて先生を求めていたが、なかなかよい先生に巡り会えない。中江藤樹が登場する。

藤樹は、十一歳のとき中国の古 そんなとき、ある飛脚から次のよ典『大学』を読んで大望を抱く。うな話を聞くのである。

その大望とは「聖人になる」こと
 かつて京都に向かっていたのだが、

彼は田舎で私塾を開き、若者たち
に人の道を教えた。それが、彼
のやつたすべてであつたのだが、
やがて近江聖人と呼ばれるよう
になり、彼の感化は全国に及んだ
と言われている。

彼の高弟のひとり熊沢蕃山が藤樹と出会ったいきさつはこうだつ

蕃山は若い頃からほんとうの学

間をしたくて先生を求めていたが、なかなかよい先生に巡り会えない。そんなとき、ある飛脚から次のような話を聞くのである。

その飛脚は、二百両の公金を預かつて京都に向かっていたのだが、

その公金を馬の鞍下に置き忘れたのだ。気がついたときは、もう自分の使った馬はなかった。彼は青ざめた。もし公金を失ったら、親、兄弟までが罪に問われることになってしまうからだ。

ところがその晩、彼を運んだ馬
子はその財布を届けにきてくれた

のだ。飛脚は喜んでお礼に十五両ねた。

馬子は、を渡そうとする。ところが、その

「あなたのお金をあなたにお返しするのは当然なことで、そのようなものをいただくいわれはありません」

と言つて受け取らない。それで

と言つて受け取らない。それでも飛脚はお札をしたい。それなら十兩、次には五兩、そして二兩とその額を減らしてゆくのだが、馬子の意志は固い。それでは気がすまないから、どうしてもと言われ

、やつと彼が承諾したのは、わ
じ代としての四文だけだった。

「どうか教えてください。あなたをこんなにも無欲で、正直で、誠実な人間にしたのは何ですか」

すると馬子はこう答えた。

「私の村に中江藤樹という人がいて、金もうけが人間の目的ではない。正直と正義と人の道とが大切だということをいつも教えてくれるのです」

飛脚から、その話を聞いた蕃山は、藤樹こそは自分の求めるべき師だと感じて、さっそく藤樹を訪

ねた。

その村の馬子に至るまで正直な人間に変えてしまう藤樹の教育的感化力に感動した蕃山は、何としても、藤樹の弟子になりたいと思つたのである。

何に感動するか。何に心を動かされるか。それが人を決めると言っても決して言い過ぎではない。

悪魔がイエスに提示したものは世界の国々の頂点に立つことだった。政治的な権力をもつことだった。

もしイエスが、それらのものに強く心を動かされる人だったら、悪魔との交渉に入られたことだろう。しかし、イエスは、そんなものに関心も示されなかった。

イエスの関心は別のところにあつた。ただ神に仕えること、それだけにあつた。

では、私たちの関心は何か。夢は何か。

私たちが夢を持つことはよいことである。だが、大切なのはどんな夢を持つかである。

ヒルティは夢についてこんなことを言っている。

「夢は、その人の人生が何であるかを示すひとつの大きな目印だ。しかしもしその人の夢が物質的なものから精神的なものに変わり始めたなら、それはよい徴候だ。この段階に達したときに初めて、神の働きかけがその人のうちに行なわれていると言えるのだから」と。

○阿蘇から齋藤さよみさんという方が、初めて参加してくださいました。

○礼拝参加者は八九名(男二六、女六三)、それに子どもが八名、合わせて九七名でした。

(続)

今日の礼拝

○礼拝は午前一〇時半から。

九月八日(月)に、実際に工事を

○教会学校は午前一〇時半から。を行なう業者の方たちが現場を見に来られました。地震のあと少したれさがった天井の一部も、天井

○説教は坂田壮一さん。

○礼拝後、昼食交わり会。

を開けて中を見て、修正は可能とのことでした。これから工事の予定が組まれます。場合によっては、

次週(九月二日)の礼拝

○礼拝、教会学校はともに午前

一〇時半から。

工事が日曜日にかかるかもしれません。そのときは、教会から徒歩二分ほどのところにある大津町町民交流施設(オークスプラザ)の

○説教は米村牧師。

先週の礼拝報告

○司会は林田実季さん。説教は

ルカ七章から。夫に先立たれ、さらにたった一人の息子を失って、

ホールで礼拝をすることになるか

と思います。

牧師身辺

毎日新聞東京本社に勤めている長男の耕一が突然ひとりでやってきて、九月七日の礼拝につどい、挨拶をしてくれました。彼も五三歳になります。とくに用事があつたわけではなさそうです。ぼくたちが元氣かどうか見にきてくれたのでしよう。そんな年齢にぼくたちもなったのだと思います。二日間の滞在でしたが、お茶を飲んだり、食事をしたりして、楽しいときを過ごせました。

説教者日程

九月二八日(日) 長岡舞子

一〇月五日(日) 米村牧師

一〇月一二日(日) 米村牧師

一〇月一九日(日) 米村牧師

一〇月二六日(日) 岩崎宏志

一一月二日(日) 米村牧師

一一月九日(日) 米村牧師

一一月一六日(日) 米村牧師

一一月二三日(日) 宮元隆博

(米村牧師夫妻は台湾出張)